



企業理念

私たちは
総合物流企業として
物を安全・確実に
運ぶことを使命とし
経済・社会の発展に
貢献します





代表取締役社長

若山良孝

Q. 当四半期の取り組みと業績についてお聞かせください

物流ソリューション拡充のため、東部滋賀物流センター竣工（滋賀県）、東部堺物流センター（大阪府）開設、西日本地区における3PL事業（物流の一括受注）の拡大に努めました

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルスが猛威を振るい、予断を許さない状況が続いております。感染症に罹患された方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復をお祈り申し上げます。

ここに第108期第2四半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の業績をご報告申し上げます。

当社の主力事業領域の貨物自動車運送業界におきましては、コロナ禍によるライフスタイルの変化等で、通販需要が拡大し、宅配貨物輸送は改善が見られましたが、それ以外の貨物輸送につきましては、経済活動停滞の影響により、輸送量、営業収入等は大幅に悪化いたしました。また、今後の感染状況によっては景気回復が遅れ長期停滞となることが懸念されており、不透明感が広がっております。

このような環境の下、当社では従業員の安全を最優先に考え、全社員が感染拡大防止に努めつつ、事業活動を展開してまいりました。営業面においては、2020年8月に東部滋賀物流センター（滋賀県）が竣工、続いて同年9月に東部堺物流センター（大阪府）を開設し、3PL事業（物流の一括受注）の拡大に向け、慎重かつ迅速にお客様のニーズに応える物流ソリューションの提供により、収益基盤の改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,563百万円（前年同期比15.9%減）、営業利益392百万円（前年同期比7.8%増）、経常利益463百万円（前年同期比20.4%増）、四半期純利益330百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、何卒今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通期業績予想

売上高

10,962百万円

営業利益

597百万円

経常利益

642百万円

当期純利益

424百万円

トピックス

東部滋賀物流センター竣工

2020年8月5日、滋賀県愛知郡愛荘町に鉄骨造地上2階建・敷地面積23,536.26㎡・延床面積22,819.34㎡の物流センターを竣工いたしました。

今後、近畿から西日本においても3PL事業を推進し、最適な物流を提供してまいります。

当社ホームページのIRニュースに東部滋賀物流センターの動画を掲載しておりますので、合わせてご覧ください。



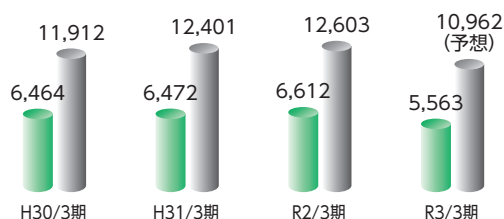
業績ハイライト

売上高 (百万円)

● 第2四半期累計

● 通期

5,563百万円
(前年同期比15.9%減)

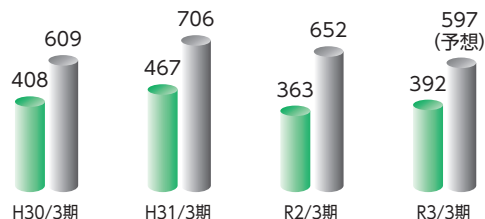


営業利益 (百万円)

● 第2四半期累計

● 通期

392百万円
(前年同期比7.8%増)

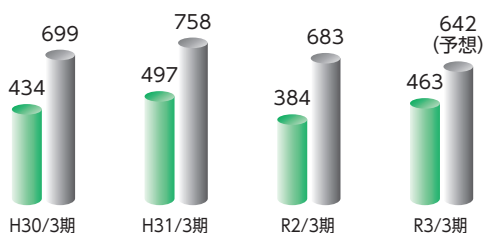


経常利益 (百万円)

● 第2四半期累計

● 通期

463百万円
(前年同期比20.4%増)

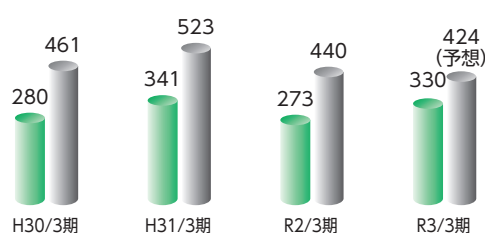


四半期(当期)純利益 (百万円)

● 第2四半期累計

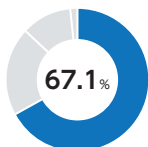
● 通期

330百万円
(前年同期比20.9%増)



事業の概況

貨物自動車運送事業



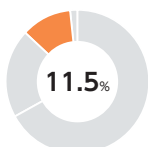
37億3千8百万円
(前年同期比19.8%減)

荷動きが低調の中、コスト低減管理強化により減収増益

飲料輸送は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を受け、休業要請や外出自粛の強まりを背景に個人消費の急激な低下により、販売数量が減少したことで輸送数量も減少いたしました。さらに、大型連休の消費増に伴った輸送増も逸したことや、緊急事態宣言解除後も総じて荷動きが低調であったため、大幅な減収となりました。セメント輸送は、セメントの生産高が減少傾向で受注量が伸びず減収となりました。

以上から、当事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、3,738百万円（前年同期比19.8%減）となり、セグメント利益は、減収予測をもとに、新規の設備投資を中止したことによる減価償却費の抑制や、修繕費を始めとしたコスト低減管理の強化に加え、燃料費の低下等により運送原価が減少したことで、259百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

不動産賃貸事業



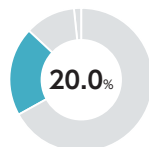
6億3千7百万円
(前年同期比1.8%減)

自社施設のオフィスの一部空室が発生し減収減益

この結果、当事業の売上高は637百万円（前年同期比1.8%減）となり、セグメント利益は303百万円（前年同期比5.8%減）となりました。



商品販売事業



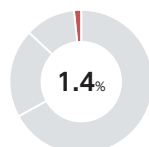
11億1千万円
(前年同期比8.6%減)

石油販売は減収、セメント販売は取引先の需要増に対応し増収、セグメント利益は増益

この結果、当事業の売上高は、1,110百万円（前年同期比8.6%減）となり、セグメント利益は8百万円（前年同期比25.1%増）となりました。



その他事業



7千7百万円
(前年同期比9.0%減)

自動車整備事業は一般修理の受注減により減収減益

この結果、当事業の売上高は77百万円（前年同期比9.0%減）となり、セグメント利益は10百万円（前年同期比31.8%減）となりました。



会社概要 (令和2年9月30日現在)

会社概要

商号	東部ネットワーク株式会社 (TOHBU NETWORK CO.,LTD.)
設立年月日	昭和18年12月30日
資本金	5億5,303万1,250円
主要な事業内容	貨物自動車運送事業 商品販売事業 不動産賃貸事業 その他事業
従業員数	合計382名

株式の状況 (令和2年9月30日現在)

株式の状況

(1) 発行可能株式総数	22,996,000株
(2) 発行済株式総数	5,749,000株
(3) 1単元の株式数	100株
(4) 株主数	825名
(5) 大株主	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
中村 巨宏	1,415	25.95
アサガミ株式会社	321	5.88
BBH	175	3.21
株式会社みずほ銀行	131	2.40
中村 千鶴子	120	2.20
三井住友信託銀行株式会社	110	2.01
中村 匡宏	101	1.85
丸全昭和運輸株式会社	100	1.83
芦原 一義	98	1.79
山本 穰	88	1.61

(注) 持株比率は自己株式297千株を控除して計算しております。

株主メモ

- 事業年度…………… 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会…………… 毎年6月開催
- 基準日…………… 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日(中間配当をする場合)
その他必要ある場合はあらかじめ公告して基準日を定めます。
- 株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人
事務取扱場所…………… 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/>
- 公告の方法…………… 電子公告により行います。
<https://www.tohbu.co.jp/>
やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所…………… 東京証券取引所JASDAQ市場(スタンダード)
- 証券コード…………… 9036

HP案内

当社は、株主・投資家の皆さまおよび一般の方々に当社の事業活動についてご理解いただくため、ホームページ内でさまざまな情報を掲載しております。

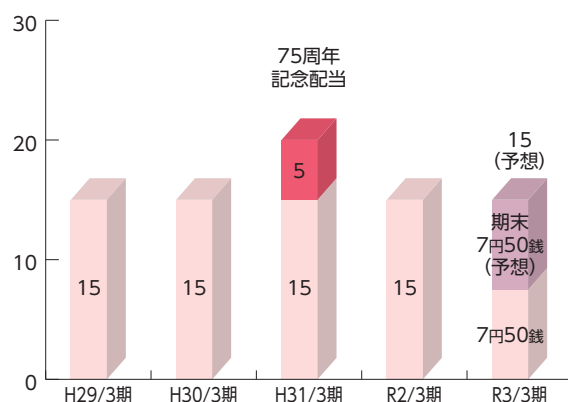


役員一覧

取締役社長 (代表取締役)	若山 良孝	取締役 兼執行役員	安藤 功
専務取締役 兼専務執行役員 (代表取締役)	三澤 秀幸	取締役	野口 誠
取締役 兼執行役員	伊藤 進	常勤監査役	高山 裕之
取締役 兼執行役員	古川 智洋	監査役	稲村久仁雄
		監査役	尾崎 眞二

(注) 1. 取締役のうち野口誠氏は社外取締役であります。
2. 監査役のうち稲村久仁雄および尾崎眞二の両氏は、社外監査役であります。

配当金の推移(円)



株主の皆さまの声をお聞かせください

当社は、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9036

いいかぶ

検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

株主アンケート結果ご報告

第107期株主通信においてお願いいたしました「株主アンケート」にて株主の皆さまからのご回答を頂戴いたしました。

株主の皆さまからのご意見(一部)

- 西日本地区における3PL事業に期待しています。コロナの影響により、苦戦する企業が多い中、貴社の強固な財務体質と安定配当に期待しています。
- トラックによる物流で、われわれの生活が成り立っています。もっと、評価されてもいいと思います。事故のない輸送をお願いします。そのためにも、運転手様へのサポートをお願いします。

皆さまからご意見を頂戴しましたこと心からお礼申し上げます。ご回答内容を真摯に受け止め、今後の株主通信発行、またIR活動に活かしてまいります。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

環境保全に配慮し、送付のご案内書面については、発送を取りやめております